

(4) 土曜授業の実施について

『藤井』

次に、(2) 土曜授業の実施についてです。新聞を見ていましたら、「土曜授業 県が支援一補正予算に準備経費」という記事があり、そのなかに「平井知事は既に県教委と協議を進め、モデル校の数について「例えば高校で1校、小中学校で数校」とし、土曜授業に踏み切る学校に対するサポートを組みたい」と述べたとあります。

倉吉市の状況はどうなっているのかと思い、市のホームページを見てみましたら、学校教育審議会で審議されていました。「倉吉市立小中学校「土曜授業の実施について」(研究中)」という資料の中には、土曜授業導入の背景や具体的な内容(月1回土曜日の午前中、ふるさと学習を中心として行う)ことが出ていました。また、岡山県への先進地視察や県教育委員会との協議等の具体的な内容もありました。

私も「5つの作戦」の中で、ふるさとの現地学習を市全体で実施することの必要性を訴えてきました。共通する部分もあると思いながら、教育長にお伺いします。

土曜授業の実施に関して、国や県の動向、そして倉吉市の現状を踏まえて、取組の経過と方向性について教育長の考えをお聞かせください。

『教育長』

土曜授業について、市の取り組みの方向ですが、①市の教育振興形基本計画の中で、倉吉に誇りと愛着を持つ子供の育成、子ども達が倉吉を知り、楽しくはぐくむ。②次世代への育成というものを地域の人たちも臨んでいる。③学校再編の話が進む中で、子ども達の姿が見えなくなる不安がある ④国や県の動向から倉吉も実施に踏み切ることにした。学校・家庭・地域が役割を分担しながら、学校における授業、地域における多様な学習や体験活動を充実させて、土曜日の生活を豊かにする。土曜日の午前中3時間を当てる。毎月1回は難しいので、実施にあたっては市内の学校で統一的にふるさと学習を中心に、小学校では地域学習を持ってくる。地域に出かけて、地域の方を迎える、交流活動を行うなどとする。

平日だけでなく、土曜日に持っていくことができないかと考えている。中学校では、倉吉風土記(倉吉学入門)歴史、地理、自然、文化など100項目の郷土の学習とともに進路学習を取り入れていく。小中学校ともふるさと学習を中心としながら、校長やPTAとも話をしながら進めていきます。

『藤井』

土曜授業の実施に関しては、性急に行うことなく、円滑に実施するための手だてをしっかりと取っていただくこと、そして、現場の声(学校、社会教育団体、

保護者) 特に、学校教育に関わっては学校長の関わりが多いと思います。校長会などの意見を聞きながら、スムーズなスタートができるようお願いします。